

市報みよし 5月号 No.3

2006年5月10日発行

編集

三好市役所総務課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

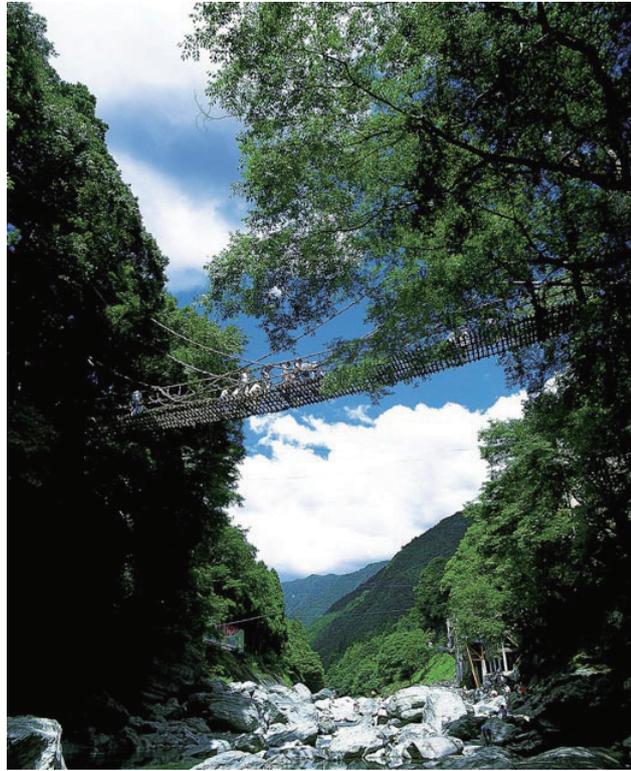
☎0883-72-7600

<http://www.city-miyoshi.jp/>

# 三好市探訪



2  
歩  
目



## 祖谷のかずら橋

— 三好市西祖谷山村善徳 —

### □ 編集後記

4月6日～15日の「春の全国交通安全運動」期間中、雨の日の運転で、集団下校している小学生とすれ違うことがありました。

便利なだけでなく、既に私たちの生活に欠かせない存在となっている自動車。時速何十キロもの速度で人や物を運ぶことができるこの便利な乗り物は、使い方を誤れば自分や周りの人たちの人生を一変させてしまう凶器にもなります。

運転は心にゆとりと思いやりを持って。大きなランドセルを背中に背負う新入生らしき小学生らを見ながら、そんなことを考えました。

(広報係より)

日本三大奇橋のひとつ、国・県の重要有形民俗文化財にも指定されている祖谷のかずら橋。伝説では、弘法大師が創案したとも、この土地に移り住んだ平家の落人が、追手が来てもすぐに切り落とせるよう考案したとも言われています。

古文書によると、かつて祖谷地方にはいくつかのかずら橋が存在したとされ、1646年(正保3年)の「阿波国図」には7つの、1657年(明暦3年)「阿波国海陸度之の帳の写」の祖谷紀行には13のかずら橋があったと記録されています。1815年(文化12年)の「阿波志」に記録された7つのうちの1つ「今窪の藤橋」が現存する祖谷のかずら橋であると推測されています。

山野に自生するシラクチカズラで編まれたこの吊り橋は、全長45m、水面からの高さ14m。床板のすきまから川面がのぞき、歩くたびにユラユラと揺れて旅人を昔も今も怖がらせるその様は、「祖谷の粉ひき唄」にも歌われています。



「市報みよし」は古紙リサイクル配合率100%再生紙を使用しています。